

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。  
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



「大家族石田さんチのお母さん」の石田さんによる基調講演

## 子供・若者を支え、未来を切り開く

■令和7年度子供・若者育成支援推進強調月間静岡県大会in牧之原市  
「令和7年度子供・若者育成支援推進強調月間静岡県大会in牧之原市」が11月22日、い〜らで開催されました。

式典では、県内で地域貢献活動に取り組んでいる個人と団体をたたえる「青少年団体等の顕彰」表彰式や相良中学校吹奏楽部による演奏が行われました。また、基調講演として「大家族石田さんチのお母さん」の石田千恵子さんが、子どもの気持ちや行動への対応の仕方など、自身の子育てで経験したことやアドバイスなどを話しました。

## バイク乗りが自然への感謝を込めて恩返し

### ■第45回 ラブ・ジ・アース ミーティング

「第45回 ラブ・ジ・アース ミーティング」が11月16日、静波海岸で開催されました。

これはバイク乗りの人たちによる地球愛護活動で、清掃活動のほか台風15号関連のチャリティーオークションの実施やバイクメーカーによる展示ブースなどが出展。市内外から約300人が集まり、流木やごみなどを拾い集めました。

参加者は、「少しでも自然に恩返しがたくて参加している。この活動にもっと参加してくれる仲間ができると嬉しい」と話しました。



清掃活動をするバイク乗りなどの参加者

## 田沼意次×オペラ＝「Bravo! (お見事)」

### ■市民オペラ「やらざあ意次!!～田沼意次の光と影～」

市民オペラ「やらざあ意次!!～田沼意次の光と影～」が11月23日、い〜らで公演されました。

郷土の偉人のことをより一層知り郷土愛を育むため、関係者によって企画された田沼意次侯を題材とした世界初演となる歴史歌劇の新作オペラは、プロのオペラ歌手や小中学生を含む約60人の市民合唱団、オーケストラを中心に約160人で上演。

当日は満員の会場の中、本作のために書かれた物語が力強い歌唱や演奏で表現され、観客からは大歓声と大きな拍手が送られました。



田沼意次侯を題材とした世界初演となる新作オペラに大絶賛



防災学習で学んだことを地域の人たちに紹介する6年生

## 1人でも多くの命を守るために

### ■静波区と静波保育園と共に命を守る避難訓練／川崎小学校

川崎小学校は11月19日、静波区と静波保育園と合同で避難訓練を行い、約500人が参加しました。

大勢の人が一斉に避難してきた場合に迅速で安全な避難誘導ができるよう、実際に近い状況での津波災害避難訓練を6年生が企画。地元の協力を得て、これまでの防災学習から構想した避難経路や誘導方法の確認と実践をしました。

訓練では6年生が表示や声掛けで参加者を誘導。6年生は、「落ち着いた行動が大切。今後もみんなで防災について考えていきたい」と感想を話しました。

## ホンの感謝の気持ちを込めて

### ■文化の森図書館「いろ葉」開館一周年記念イベント

市立文化の森図書館「いろ葉」は11月3日、開館一周年記念イベント「図書館からのおくりもの。」を開催しました。

これは、開館から一周年を迎えたことと、来館者が累計10万人に達したことを記念したもので、榛原高等学校の生徒が企画運営したものです。

セレモニーでは、来館10万人目の人への記念品の贈呈や同校吹奏楽部による演奏会、イベントでは、同校グローバル部によるしおり作りと謎解き&脱出ゲームが行われました。



来館10万人目となった大石和宏さん(静波区)ご家族(前列)



榛高吹奏楽部による演奏には青空の下たくさんの人が来場



謎解きゲームでは市にまつわるクイズも

## 意次侯の改革の1つ「産業振興」で経済活性化

### ■市制施行20周年記念事業「まきのらは産業フェア2025」

市の産業にふれあい、理解を深めることを目的に「まきのらは産業フェア2025」が11月16日、市役所相良庁舎駐車場などで開催されました。

会場には市内の企業や団体、友好交流市町など136店舗が集結し、特産品の販売や日頃の活動を紹介。月3万円ビジネス受講生による「わたしたちの3ビズマーケット」や、おかえりプロジェクト参加企業による「おしごとふれあいパーク」なども出展しました。また、市制施行20周年記念として、市に関係するクイズ大会も行われました。



3ビズマーケットでは飲食物販売や体験教室などを開催



市内外から約2万人の来場者が訪れ、大盛況(写真は餅投げ)



友好交流市町ブースでは各地の名産品を販売(写真は福島県白河市)